

第56期 中間株主通信



2024年4月1日 ▶▶▶ 2024年9月30日

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社第56期中間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の経営成績につきましてご報告申し上げますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

事業の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、設備投資には持ち直しの動きがみられ、企業収益も総じて改善されるなど、緩やかな回復基調が見受けられました。しかしながら、原材料やエネルギー価格をはじめとした諸物価の上昇、海外景気の下振れ懸念、地政学リスクへの警戒など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、10次中期経営計画2年目を迎え、「R S ビジョン」実現に向け、重点施策として「強化・拡大」、「変革・成長」、「構造改革」に取り組み、公共分野及び民間分野とも受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

「強化・拡大」では、公共分野において、自治体・警察向けソリューションビジネスの拡大に取り組んでまいりました。民間分野では、エネルギー事業において、大型 S I 案件に取り組むほか、モビリティ（組込）事業においては、企業の業界構造の変化に伴う積極的な投資を背景に受注拡大してまいりました。また、両分野において、



代表取締役社長 社長執行役員 北澤直来

クラウドサービス拡大に取り組んでまいりました。

「変革・成長」では、民間分野において、製造業のお客さま向けのDX支援としてAMOサービス※の強化に取り組んでまいりました。

「構造改革」では、将来の事業拡大に備え、先行投資として新たに両毛システムズデータセンター（以下、R S D C）を稼働したこと等により、減価償却費が増加しましたが、データセンターを活用したクラウド利用料ビジネスの推進等の取り組みにより、収益が平準化され、安定した収益確保に貢献いたしました。

※AMO(Application Management Outsourcing)サービス：お客さまの業務システムを企画・設計から運用・保守までのシステムライフサイクルを通してサポートするサービス

2025年3月期
中間期業績

売上高

8,479百万円
(前年同期比1.2%増)

経常利益

599百万円
(前年同期比27.7%減)

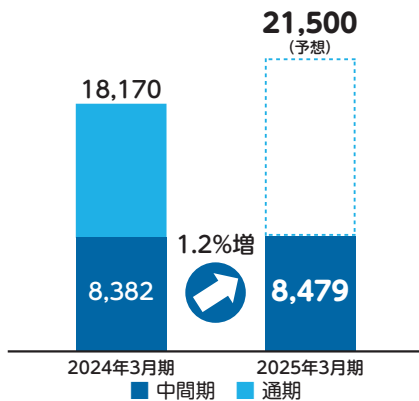
営業利益

635百万円
(前年同期比23.8%減)親会社株主に
帰属する中間純利益374百万円
(前年同期比35.1%減)

決算ハイライト

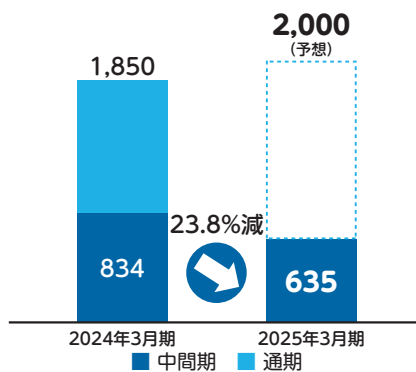
売上高

(単位：百万円)



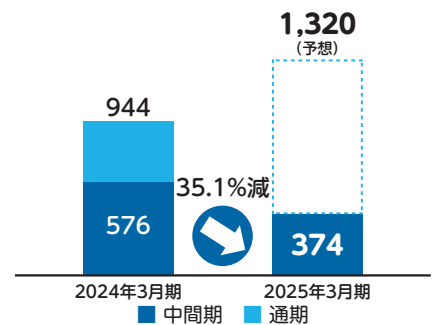
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

(単位：百万円)

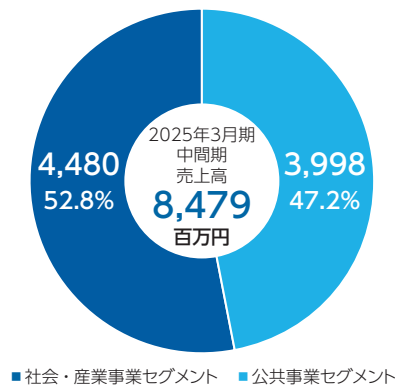


セグメント別の状況

社会・産業事業セグメント

車載系組込ソフトウェア開発支援業務や製造業向けAMOサービスなどのITエンジニアリングサービス等により、ソフトウェア開発・システム販売分野が好調に推移し、新規稼働したRSDCの減価償却費の増加はありましたが、利益を確保いたしました。

セグメント別売上構成比(連結)



公共事業セグメント

システム機器・プロダクト関連販売分野は前年同期を下回りましたが、警察向けのシステム販売のほか、クラウドサービスやグループの総合力を活かしたアウトソーシング・サービスによる情報処理サービス分野が堅調に推移したこと等が売り上げ、利益に貢献いたしました。一方で、新規稼働したRSDCの減価償却費の増加等により、利益が減少いたしました。

売上高

4,480百万円

[前年同期比6.5%増]

セグメント利益

957百万円

[前年同期比1.7%増]

売上高

3,998百万円

[前年同期比4.3%減]

セグメント利益

667百万円

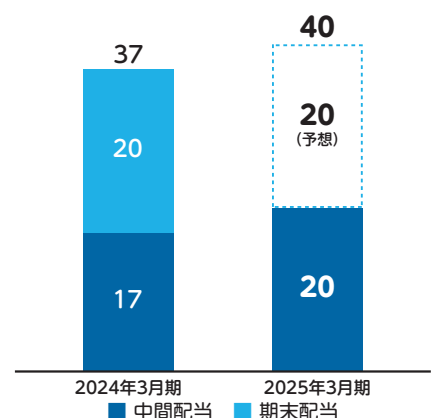
[前年同期比18.9%減]

利益配当

事業収益やキャッシュ・フローの状況を勘案し、経営基盤の強化と企業価値向上に向けた中長期的投資などの内部留保を考慮しつつ、総合的な判断により適正な株主配当に努めております。

当期の中間配当は計画どおり、1株当たり3円増配し、20円とさせていただきます。

(単位：円)



「強化・拡大」の取り組み

当社は、経営計画の達成に向けて、各種展示会への出展やセミナー開催を通じて、お客さまに様々なソリューションを提案し、更なる成長へ向けた新価値創出に取り組んでいます。

各種展示会



人とくるまのテクノロジー展

モビリティ DX Solution

SDV時代に向けた課題解決をサポート

- ・モデル流通ソリューション
- ・モデルベース開発支援 など
- ・MBDリスキル
- ・自動運転検証環境構築支援

Japan DX Week 秋

社内業務 DX Solution

「信頼」と「実績」

- ・安全・安心「群馬」のデータセンター
- ・Oracle Linux KVMホスティングサービス など



地方自治情報化推進フェア

自治体 DX Solution

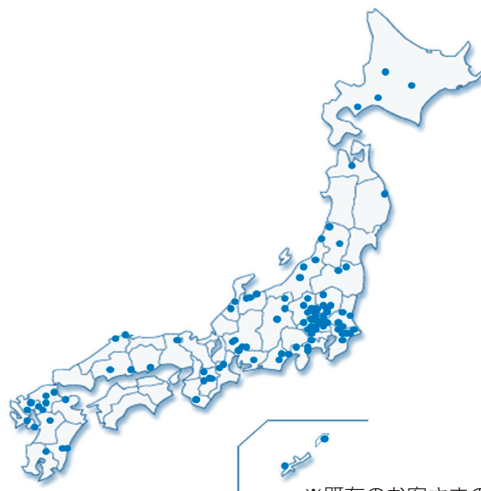
自治体業務を支える最新テクノロジー

- ・窓口DX（生成AI・チャットボット）
- ・自治会DX（電子回覧版）
- ・福祉DX（マイナカード活用） など

RSガスシステムセミナー2024 in 桐生開催

当社は、毎年、ガス事業者向けにセミナーを開催しており、今年で22回目となりました。

今回は、本社を置く群馬県桐生市で開催し、全国の都市ガス事業者195社のうち、約70社のお客さまにご参加いただき、お客さま同士の交流や、当社の最新の取り組みを紹介など、お客さまエンゲージメントの向上に取り組みました。



※既存のお客さまの分布(100社)

職場環境づくり

当社は、社員一人ひとりが豊かで充実した人生を送れるよう、長期にわたり働ける職場をつくることが重要であると考え、心身の健康の維持・向上だけでなく、働きやすい、働きがいのある職場環境と仕組みづくりを推進しています。



事業所内での運動促進イベントの様子



他拠点でオンライン参加する様子

インフォメーション(2024年9月30日現在)

会社の概況

設立	1970(昭和45)年1月31日
資本金	1,966百万円
事業内容	ソフトウェア開発・システム販売、情報処理サービス、システム機器・プロダクト関連販売、その他の情報サービス
本社	群馬県桐生市広沢町三丁目4025番地
支社	東京都千代田区
営業所	高崎、埼玉、茨城、宇都宮
サポートセンター	中部(豊橋、名古屋)、西日本(広島)
開発センター	太田、仙台

役員

代表取締役社長 社長執行役員	北澤 直来
取締役 専務執行役員	山崎 信宏
取締役 専務執行役員	藤野 修二
取締役 常務執行役員	上山 和則
取締役 常務執行役員	大澤 実
取締役(監査等委員)	福田 哲夫
社外取締役(監査等委員)	星野 陽司
社外取締役(監査等委員)	小島 昇
社外取締役(監査等委員)	竹原 朋子
常務執行役員	吉澤 健次
執行役員	坂本 直紀
執行役員	磯貝 孝夫
執行役員	西村 貴宏
執行役員	田所 貴幸
執行役員	森 弘司

株式の状況

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式総数	3,510,000株
株主数	901名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1 株式会社ミツバ	1,795	51.3
2 株式会社横浜銀行	173	4.9
3 ヨシダトモヒロ	105	3.0
4 日野貞実	70	2.0
5 CACEIS BANK/QUINTET LUXEMBOURG SUB AC/UCITS CUSTOMERS ACCOUNT	66	1.9

株主メモ

事業年度	4月1日~翌年3月31日
配当金 受領株主確定日	3月31日、9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎ 0120-232-711
同連絡先	東京証券取引所 スタンダード市場 JPX STANDARD
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 JPX STANDARD
公告の方法	電子公告により行います 公告掲載 URL https://www.ryomo.co.jp/koukoku/index.htm ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

各種手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿に記載の住所・氏名などの変更 ●単元未満株式の買取請求 ●配当金の受領方法の変更 ●振込先の変更 ●マイナナンバーに関するお問い合わせ ●その他手続きに関する事項	株式をお預けの証券会社にお問い合わせください	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711
●特別口座から証券会社の口座へ振替申請 ●特別口座の残高照会		
●支払期間経過後の配当金の支払請求	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711	